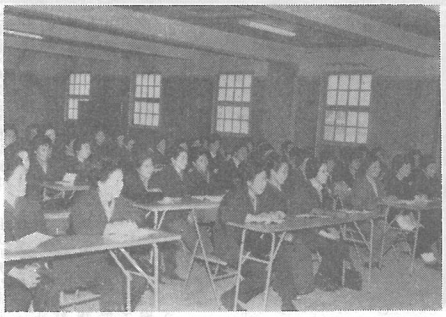
移動婦人学級開催
国立中央青年の家



熱心に講義を聞くお母さんたち

自活的な明るい合宿生活を通じ、共同社会の婦人としての自覚と責任感を養い失われつつある規律正しい生活態度の習慣を身につけると共に、清新な息吹を感じることを目的として、十二月十日より三日間、御殿場市郊外、国立中央青年の家において冬の移動婦人学級が開講された。

教育の場を町を離れた他県にもうけ、面内では得られぬ一学級のための移動学級は今年も国立中央青年の家を選んだ。参加学級生五十七名はバスに箱根路を見学午後四時前施設に着く。冬の山ろくは寒しみろが、施設はすべて暖房が通っており研修室が備えられ、さすが国営だと言える。講義もリクレーションも話し合いもとれも楽しくまた強く脳裏に焼きざまれた。六時半の起床合図に一日が始まり、日頃わすれている時間に対する感念がずなれぬ手つきでベッドに入れば十時の消灯合図が、施設にひびき渡り一日が終る。張りつめていた気がゆるむ。青く晴れた上空に、白く黒く突き出た富士を眺めた十二日、研修も終り帰途につく。富士がとこまでもつきまとう。

成果のあった冬期研修は、ホタルの光を最後に終了、今は学んだ成果を十分に発揮して人間の幸せは、健康なくしては生れない。経済の発展と文化の向上も、旺盛な体力と精神力と活動力に支えられた町民各個の高い健康がその原動力であります。

ところで、全国的に行われた実態調査の結果をみましても、結核はまだまだ重要な社会病であり、しかも発見される患者が一般住民の間に多くなりつつある現状でありますので、結核対策は今后一般住民検診を中心にますます強化徹底の要があると思われます。四十年度も区長さん始め、皆様方の御協力により無事終了いたしましたので表により示しました。他町村にくらべ相当底率でありますが、まず健康でなくてはなりません。

体力づくりは一朝一夕に生み出すことは出来ず、長期持続的に根気良く推進しなければならない。栄養及び食生活改善、生活環境の改善、予防知識の普及等さらに定期健康検査により、早期発見、早期治療が最もたいせつであると考えますので町民各位の御協力により、全町民が検診されるようお願いする次第です。

住民検診に関心を
低い検診率～東陽・白浜

40年度 一般住民検診

部落名	該当者	実施者	検診率	部落名	該当者	実施者	検診率
本一二三区区	146	126	86.30	場郷野	600	302	50.33
篠〃〃新宝二市	256	202	78.90	橋桑西	45	20	44.44
野	301	198	65.78	高入	90	73	81.11
井来又原	241	141	58.50	谷篠原	155	105	67.74
野	251	198	78.88	中原方	303	149	49.17
小計	164	144	87.80	小計	202	108	53.46
	52	32	61.53		182	123	67.58
	1,411	**1,041**	**73.77**		**2,244**	**1,221**	**54.41**
子部	113	55	48.67	辻	184	84	45.65
台戸下生崎	144	109	75.69	戸塚神区区	276	173	62.68
	103	87	84.46	ノ垂五六	267	131	49.06
	187	154	83.69	木長五屋ヶ野	131	76	58.01
	110	81	73.63	高谷	129	75	58.13
	90	70	77.77	山関	451	214	47.45
	89	79	88.76	柄	97	26	26.80
	210	169	80.47	小計	128	27	27.83
田台川示	139	68	48.92	間内内屋	139	68	48.92
小計	**1,046**	**804**	**76.86**	小計	313	116	37.06
				合計	**2,115**	**990**	**46.80**
小傍富虫芝	157	96	61 14				
佐宮古	213	129	60.56				
	297	116	39.05		**6 816**	**4,056**	**59.50**

(40.11月現在)

被害者の権利を守る
検察審査会からのお知らせ

皆さんあなたやその周囲の人で犯罪によって害をうけ、その犯人を処罰してほしいと警察や検察庁に訴えたが、その結果「罪とならず」とか「嫌疑なし」と言われて裁判所に廻されないことになってしまいこの処分に不満だがさてこれを誰にどうしてもらったらよいのか判らなくてそのままになってしまったということはありませんか。

そのような被害者の不満をきいてもう一度調べ直してみることを仕事としているのが「検察審査会」です。

「検察審査会」は裁判所の中にあって、民主的に広く国民の中から選ばれた検察審査員が、その不起訴処分について調べてみて、もし検察庁の取扱方が不当と判断すれば検察庁に「起訴するように」申入れをするのです。

審査の申立は「検察審査会」に申出れば簡単に全部無料でその手続がとれます。

犯罪人が目ごぼしになったのをよいことに大手を振って社会とするために「検察審査会」を利用しましょう。

「検察審査会」の所在地は左記のとおりです。

八日市場市イ二七六〇番地
千葉地方裁判所八日市場支部内
八日市場検察審査会
電話八日市場局
九四二番
九四三番

国保と健保

最近、国民健康保険という活字が一般新聞でもよく見受けられます。財政が悪化したとか、国保税が高いなどといわれますが、この機会に今一度国民健康保険のしくみについてお知らせしましょう。今回に引きつづいて次号でもお伝えする予定です。

わが国には、国民健康保険のほかに、国民の二字をはぶいた健康保険があります。健康保険は「工場・鉱山・銀行・会社等のいわゆる社会保険、官庁、学校等の職員共済組合や、日雇労働者健康保険、船員保険などあらゆる職場に働いている人々を対象としております。国民健康保険は健康保険に加入している人々以外の人達を対象として義務づけられた、世帯を単位とする、地域の健康保険です。

国民保険は、病気や、けがなどのような不時の出来事に備えるための制度であって、これを保険の形で達成しようとするものです。

そこで、保険という形ですべての人が保険に加入し、これを行うには、保険する者と、保険される者とがあるわけです。保険される者を被保険者と呼び、保険される者を被保険者といっています。国民健保の保険者は市町村で市町村が国民健康保険の経営主体となって、保険税を集めたり、医療機関への支払を行って行くのです。

国民健康保険のしおり

被保険者

国民健康保険の被保険者となる者は、市町村に住んでいる方全部です。しかし、法律では健康保険、各種共済組合（農業共済等とは全く異ります）船員保険などに加入している被保険者とその家族、生活保護を受けている世帯の人達は国保の被保険者となることはできません。次に国民健康保険では健康保険、日雇労働者健康保険、各種共済組合（農業共済等とは全く異ります）船員保険などに加入している被保険者とその家族、生活保護を受けている世帯の人達は国保の被保険者となることはできません。次に国民健康保険の被保険者となることは出来ません。

保険給付とは

被保険者の病気や、けがをしたとき、必要な治療を受ける権利があります。これを療養の給付といってもっとも大切な給付です。

この療養の給付は、その病気や、けががなおるまでの診察や薬剤、手術、治療材料などの支給が含まれていることは勿論、往診や入院もできます。

療養の給付は国民健康保険の治療を担当することを知事に申し出たお医者さんが行うことになっています。また、柔道整復師の方たちとも協定を結び、一般のお医者さんと同じ形で治療代の支払方法を依頼してあります。

一部負担金

みなさんがお医者さんなどの窓口で治療代の一部を支払いますが、これを一部負担金といっています。光町の一部負担金は、世帯主は治療代の三割、世帯員の方は半分まり五割ですが近く三割になる予定です。

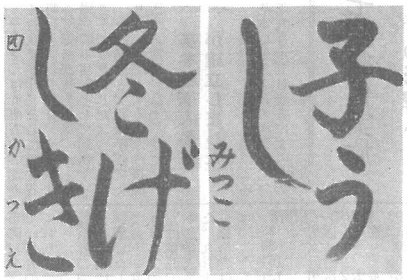
（次号では保険給付のうち療養費、助産費等を含めてお伝えします。）

嫡産婦と乳児に無料の牛乳

姙娠中のお母さんの栄養が生れる赤ちゃんの発育を大きく左右することはご承知でしょう。ときには奇形児や精薄児も生まれかねません。さきほど成立した母子保健法により、姙娠中や産後のおかあさんや、赤ちゃんに一定の期間無料の牛乳を支給していくらかでも栄養を補なっていただくことになりました。

といっても、全部の姙産婦と乳児にということではなくとりあえず、町民税を課税されていない家庭が対象になっています。該当すると思われる方は、町の保健婦か、衛生係におたずねになり、牛乳を支給されるよう手続をとって下さい。

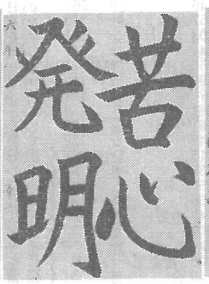
生徒の作品



白浜小4年　伊藤和江

日吉小3年　ないとうみつこ

光中2年　酒巻早苗

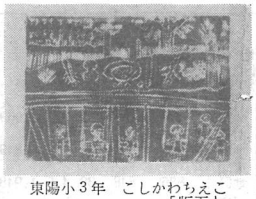


南条小6年　戸村幸江

東陽小4年　佐藤弘美

白浜小2年　こうご　ひさし

南条小3年　ふかだ　まさよ



東陽小3年　こしかわちえこ
「版画」

日吉小6年　大木　秋江

光　中1年　土屋　喜信

編集後記

丙午―ヘイゴーひのえうま（わが国の俗説に、この年生まれの女は夫の寿命をちぢめるという。）

若い人たちの間には、もう早やこんな迷信を信用するものはいないでしょう。

わたくしたちの町が、県が国がこんな意味のない迷信を捨て切り、固執をはなれて若駒のように進んでいく年、そんな年にしたいものです。

勿論ただなは必要です。すぐれた馬に上手なただなさばき――つねに先頭をいくはずです。

この広報が皆さんのたずなによって、あるいは鞭ですますすぐれた広報になるよう頑張るつもりです。

おすこやかに新年をお迎えのことと存じます。

みなさまのご健康とご多幸をお祈りし、光町がますます発展するよう努力いたします。

議会議員一同
役場職員一同

（編集員一同）